

わたしたちも子ども会を応援しています。

## 守山区区政協力委員協議会議長

～あの子ども、この子ども、みんなの子ども～

ひと昔前、子どもは、地域の子として、周りの大人は、子どもを気にかけて、話しかけ、時に、褒め、怒り、笑い合う。そんな顔の見える関係の下で、子どもたちは、健やかに成長していきました。

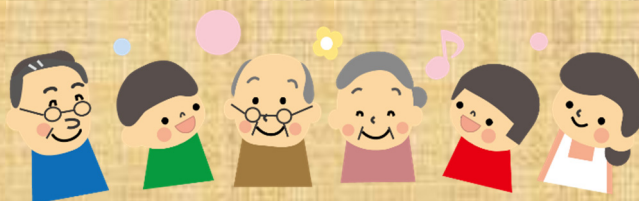
「〇〇ちゃん」と聞けば、近所の人にはすぐ判ります。地域のセーフティネットが、子どもたちを、やさしく守ってきました。親は安心して子育てができ、子どもは、大らかに育ったものです。

こうした風景は、「過去のもの」。こう嘆く方もおられます。けれど、私には、いまの子ども会にも、その精神は、脈々と受け継がれていると感じます。

“子どもは、地域の宝”。子ども会活動を通じ、子どもたちが、地域という舞台上、豊かに育つことを願ってやみません！



区政協力委員協議会  
加藤議長



## 守山区長

～子ども会は、みんなが育ち合う場～

核家族化が進む昨今、育児に不安をいだきながら、誰にも相談ができず、ひとり悩みを抱えた親御さんが増えていると聞きます。

子どもたちのなかには、塾や、お稽古事に忙しい子、ゲームでの仮想世界に興じる子らが増え、かつて、それに満ち溢れていた公園には、子どもの歓声や駆け巡る姿は、遠く消えてしまったかのようです。

子ども会は、いつも子どもたちが主役です。遊びを通じ、子どもたちの心に、他人を思いやり（社会性）、自分を大切に（自己肯定感）気持ちを育みます。子どもには、皆、実体験を通じて、お互いに「育ち合う」力があります。

そして、保護者の方も、子育ての悩みを相談するなど、親同士の「育ち合う」関係が作れるのではないのでしょうか。

子ども会の力に期待しています！



守山区長  
信田 直己

